

今号の主な内容	市政世論調査にご協力を	2面
	地域福祉計画見直します	3面
	ごみ有料化1年・分別の説明会	4面
	フォーラムの会場を一部変更	5面
	学校での介助ボランティア募集	6面
	市営プールオープン	7面

## ごみのない街・環境にやさしい街を目指して

有料化実施から1年・一般家庭から出される可燃ごみ 14.7%減  
不燃ごみ 21.6%減  
資源ごみ 11.8%増



市民の皆さんの努力の成果です



市では、①市民負担の公平性②ごみ減量・リサイクルの推進③排出者の意識改革④ご

### ご協力ありがとうございました

平成11年10月から自己責任と環境美化を図ることを目的として、戸別収集へと移行しました。

さらに指定袋によるごみの有料化制度に変更して1年が経過しましたが、大きな混乱もなく順調に移行することができました。

おかげをもちまして、可燃ごみ、不燃ごみともに当初目標としておりました10パーセントの減量ができました。同時に資源の収集量も増加となり、制度変更の効果がはっきりと表れています。

これは、市民の皆さんのごみに対する意識改革が進んだことによる大きな成果であったと思います。ご協力に心から感謝申し上げます。

今後、この減量成果を継続し、さらなるごみ減量を進めることが大きな課題です。市民、事業者、行政が一体となって、取り組んでいかなければならないと思っています。

地球を守り循環型社会を構築するため、今後とも市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

福生市長 野澤久人

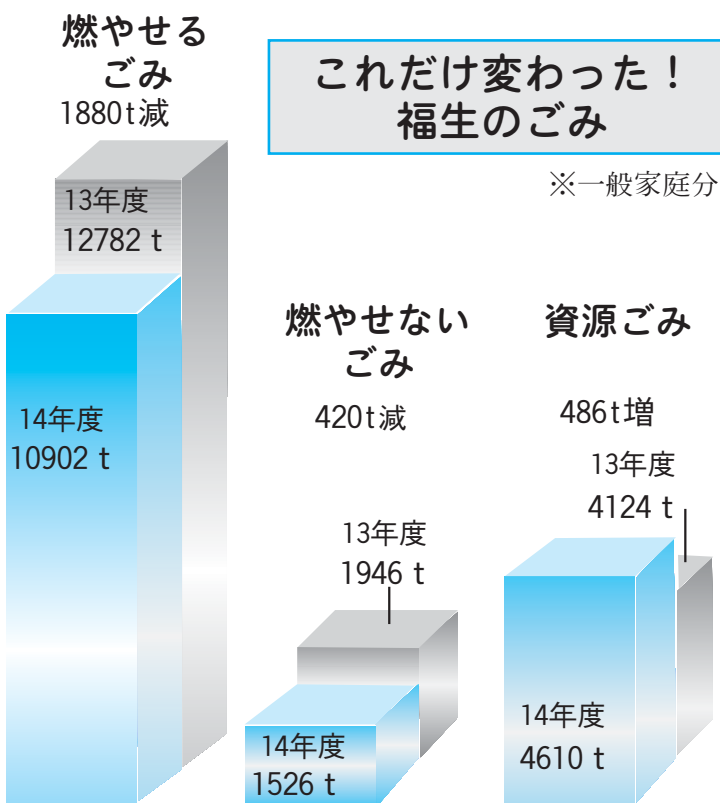
み処理費用の削減を有料化の根拠として、平成14年4月からごみ有料化(指定収集袋制)を実施しました。

1年が経過し、市民の皆さんのご努力により当初目標としていましたごみの減量10%、資源の増量10%の目標を上回ることができました。市民の皆さんがごみの減量や分別・再利用に協力をいただき、街福生をつくりましょう。

市では有料化実施後の報告とごみ・資源の分別についての説明会も行っています。一人ひとりがごみに対して関心を持っていただき、一緒に取り組んでいきたいと思います。

※一般家庭分

### これだけ変わった！ 福生のごみ



↓4面に続きます

また、福生分水として流れる水は、現在多摩川中央公園でお馴染みですし、熊川分水は、下の川のはげ部分に作られている緑地内にも流れています。今後、一部修復して景観の保存に努めていく予定です。

上水がなければこれらの利用は考えられません。そう思うと玉川兄弟の偉大さとそれに携わった先人の苦勞を思わずにはいられません。末永く大事にしていきたいでしょう。

市内には、一部上水沿いに歩けない場所がありますが、それでも多くの方が、羽村の堰から歩き始めて散策しておられます。近いうちにルート案内板など整備する予定です。秋には、沿線市が合同で「歩く会」も行われます。

新東京百景に選ばれた新堀橋周辺、かに坂公園の上の旧堀跡(通水約100年後、上水が多摩川に近く洪水の折に決壊のおそれがあるため、現在地に掘り直したといわれています)、水喰土(日光橋公園内)など、さらに多くの方々注目されるでしょう。

玉川上水は、今年開削350年を迎え、国の文化財・史跡指定も今年中には決まると思われます。

### きんもくせい

福生市長 野澤久人

